

1 教育目標 「心身ともに健康で、自主自律の精神に富み、人間性豊かな丸中生徒の育成」

(1) めざす学校像

- ・生徒が学ぶ喜び、自己の成長を実感でき、自ら誇りに思える学校
- ・教職員がやりがいを感じ、笑顔と温かさにあふれる学校
- ・誰にとっても安全・安心で、保護者や地域から愛される学校

なりたい自分づくり

自ら進んで考え動く！
自分と周りを大切にしてつながる！
新たなことに挑戦する！

(2) めざす生徒像 ～ 自主・自律・活力ある丸中生徒 ～

- ・主体的に学習や活動に取り組む生徒 〈自主〉
- ・自らを律し、他と協調し、心を通わせることができる生徒 〈自律〉
- ・進取の気性に富み、たくましく生きる心身を持った生徒 〈活力〉

(3) めざす教師像

- ・教職への使命感のもと、自ら学び続ける教師
- ・組織の一員として、主体的に学校運営に参画し、喜びを感じられる教師
- ・生徒への深い愛情をもち、思いに寄り添い支援できる教師

2 目標表現のための具体的な手立て

(1) 組織的な学校運営 <ベクトルを一つに&個々の強みを生かしたチーム丸中で！>

- ① 危機管理の「サシスセソ」を基本に「報連相」を徹底する。複数で対応しチーム一体となって取り組む。
- ② 温かい雰囲気や協働性を高める。「やってみよう！ありがとう！なんとかなる！ありのままに！」
- ③ 「何のために」を共有し、職員全員が参画意識を持ち、主体的に学校づくりに取り組める組織体制を構築する。
- ④ 自己の役割を認識、及び個々の強みを生かした校内 OJT を組織的・計画的に推進し、人材の育成・発掘を図る。
- ⑤ 機能的・協働的な組織づくりと自身の働き方の見直しにより、教師も生徒も生き生きとした姿につながる。

(2) 学びに向かう力の育成 <子どもが学ぶ・学びとる>

- ① 子どもが目標達成する授業実現に向けた個別×協働×ICT をより進化・深化させるため教科部会充実を図る。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学びは我が事と捉え夢中になって取り組む授業実践を推進する。
- ③ 子どもがどのように学ぶかを追究し、生徒自身が判断・選択し、インプットとアウトプットを繰り返す授業実践。
- ④ 学びに向かう集団づくり(安心できる温かい集団づくり)を計画的に実施し、学びの基盤をつくる。
- ⑤ 総合的な学習の時間を充実させ、ICT を活用したプレゼンテーション力を育成する。
- ⑥ 授業に活きる家庭学習の在り方を示し、学習習慣の定着を図る。

(3) 豊かな人間性の育成 <十人十色・自分色>

- ① 子どもが主体となる活動を活性化し、可能性を信じ、認め、引き出す場の設定と仕掛けを準備する。
⇒ 学級活動は合意形成による集団目標決定の場 → 課題解決は「自らの手で」 → 共生・自治力
⇒ 学年行事によるリーダー&フォロアーの育成 → 人間関係・発想力
⇒ 学校行事による達成感・自己理解・他者理解 → 自己有用感・創造・憧れ・感謝・考動力
- ② 特別な教科道徳の充実を図ると共に「心のテーマ」を共有し「よりよく生きる力・人間力」の基盤を育成する。
- ③ 学級活動や総合的な学習の時間を通して、将来への視野を広げ、なりたい自分を思い描き挑戦する意欲を育む。

(4) 健やかな心身の育成 <一人を大事に>

- ① 個別に配慮を必要とする生徒に対し、保護者や関係機関と連携し、思いに寄り添った支援に努める。
- ② ネット環境下での SNS やゲーム等への関わり方も含め、三点固定を意識したより良い生活習慣の定着を図る。
- ③ 目的意識を持たせ、心身の発達にふさわしい活力ある部活動運営に努める。

(5) 家庭・地域・小学校との連携 <発信して巻き込む>

- ① 各種たよりやHP等を通して、開かれた信頼される学校づくりのための情報発信に努める。
- ② 保護者・地域・小学校と連携し、さわやかな挨拶の励行や交通ルール・マナーを守る意識を高める。